

- relations -

ひと・こと・もの の 関係性とは



ENNOVA presents 第二回 希望のつくりかた 日時 平成 24 年 1 月 28 日 (土) 18 時 30 分開演 (開場 18 時)
会場 蔭涼寺 (岡山市北区中央町 10 - 28)

講師
服部滋樹

ENNOVA presents
希望のつくりかた

第二回

日時 平成 24 年 1 月 28 日 (土) 18 時 30 分開演 (開場 18 時)

会場 蔭涼寺 (岡山市北区中央町 10 - 28)

入場料 前売り 1,000 円 当日 1,200 円

お席に限りがございます。前売券をご希望の方はメール (info@ennova.jp) もしくはお電話 (打谷 090-7101-4134) にて、[お名前]・[お電話番号]・[ご予約人数]をお知らせください。

希望のつくりかたとは？

モノと情報は溢れているけど、「希望」はどうだろう？

「希望」が見えた時代から
自分たちで作らなければ
「希望」が見えにくくなった現在

そんな私たちに



「ヒント」

を与えていただける様々なジャンルの方をお招きして
みんなで「希望のつくりかた」を探っていくこう！

という催しです

みんなで円になって、縁が生まれて
新しい「希望」を発見していきましょう！



■ 講演タイトル

「- relations - ひと・こと・もの の 関係性とは」

ますます注目が集まる「デザイン」と「地域」との関係

近年、地域やコミュニティとの関わり方を真剣に考えるデザイナーが増えています。今回お招きする服部氏もその一人。最近では、新たな課題に挑む滋賀県在住の若手農業者たちと農業の未来を考える「田園ドリームプロジェクト」や、お隣の鳥取とソウルの2つの異なる土地それぞれで見つけた「いいモノ」「いい食」を集めながらそこに関わる暮らしや人を繋ぎ紹介する「トットリソウル」がそうです。

当日は、様々なジャンルで活躍する服部氏から実績や実例を紹介して頂きながら、その活動の根底にある「ひと」と「こと」と「もの」をつなぐこと、コミュニティの形成においてのデザインという視点からの試み、等々についてのお話を伺います。これからのコミュニティのあり方などについて、会場のみなさんと意見を交わし合う有意義な時間になればと思っています。



服部滋樹 graf代表、
京都造形芸術大学教授

1970 年大阪生まれ。98 年大阪、南堀江にショールーム“graf”をオープン。2000 年“decorative mode no.3”設立。同年、中之島に移転し、“graf bld.”を設立。オリジナル家具の企画、製作、販売、店舗、住宅設計、施工、グラフィックデザインまでプロジェクト単位でチーム編成を交換しプランニングに至るまで様々なジャンルを行き来する。

Access

※岡山電気軌道清輝橋線・大雲寺前駅から徒歩約4分。
※駐車場のご用意はありません。お車の方は、近隣のコインパーキングをご利用ください。駐輪場はございます。



主催

| NPO法人 ENNOVA OKAYAMA |

[EN]は「縁」「円」。英語ではenをつけて動詞にする接頭語だったりもします。[NOVA]はラテン語で「新しい」「若い」「最近の」「見知らぬ」と言った意味をなします。つまり、「エンの場」だったり「新しいエン」だったり、見たこともない「コト」や「モノ」を作ったりすることだったり、行動することだったり、参加することだったり… [ENNOVA]とは、そんな自由な発想で[ENNOVA]を解釈し、実行していくプロジェクトの総称です。お問合せ先【メール:info@ennova.jp 電話:090-7101-4134(打谷)】



http://ennova.jp/